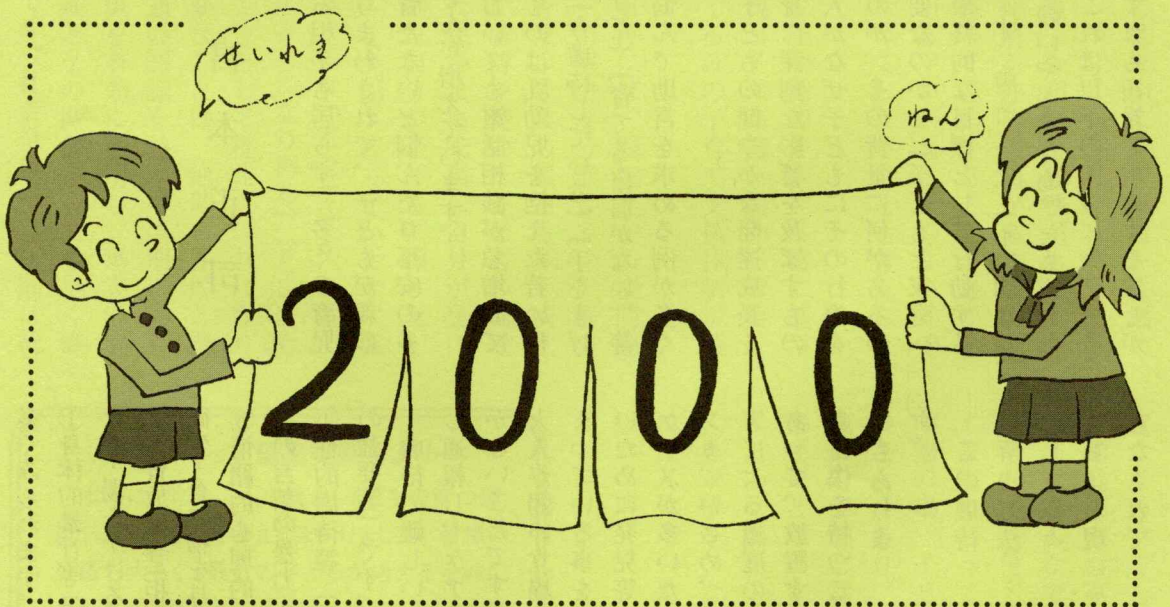
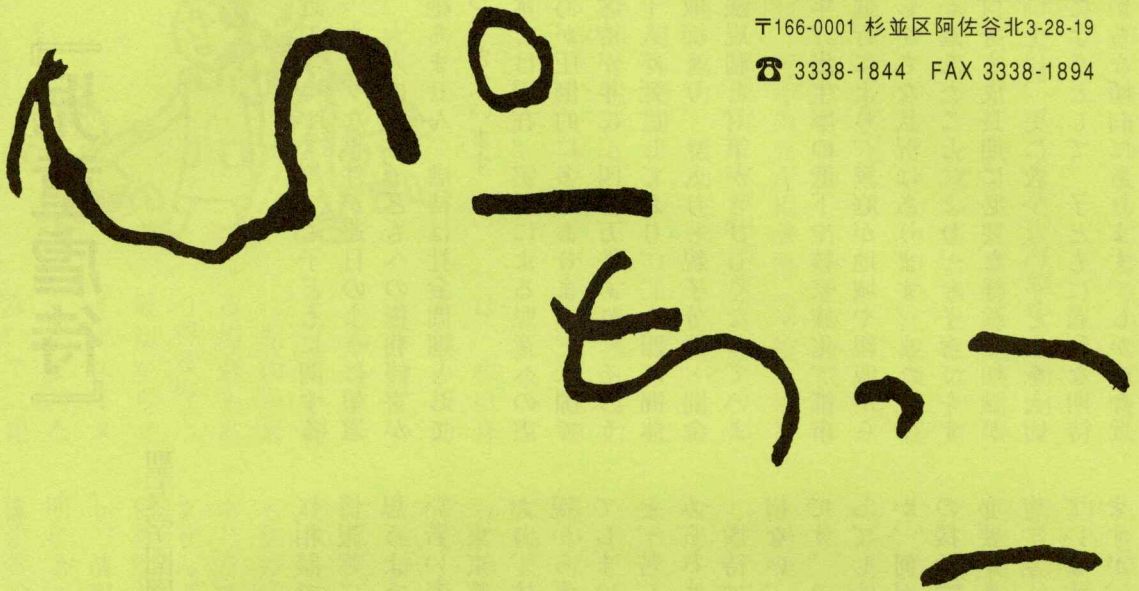


発行 社会福祉法人 聖友ホーム
 聖友学園 (児童養護施設)
 〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19
 ☎ 3338-1844 FAX 3338-1894



目次 ●「児童虐待」聖友学園園長 宮本正司 2

●ふわふわ 4

●あっちこっち 6

●このゆびとまれ・もぐもぐ 7

●e t c 8

『児童虐待』

聖友学園園長

宮本正司

最近のニュース等でも子どもに関するショッキングな事件が連日のように報道され、大人による子どもへの権利侵害が後を絶ちません。虐待は社会問題として広がってきています。

日本では現在、実母による児童への虐待行為が圧倒的に多くあります。米国では、虐待が年に二四〇万件あり、そのうち三千人が死亡しており、二十四時間体制で取締まり、立入り・親子分離・罰金等の法規制と対策がきびしくなっています。

近年、出生率の低下や核家族化、都市化の進行により、家庭が地域や親戚から孤立しがちな状況にあります。また、少子化が進んだことにより、今子育てをする親自身も成長期に必要な経験や知識が少ない上に、更に数少ない子どもを大切に育てようとして、子どもに過剰な期待をしがち傾向にあります。しかも身近

に相談できる相手も居らず、多くの育児情報等にふりまわされて、子どもが親の思うように育たないと悩んだり不安の多い若いお母さんが増えています。

東京都においても電話相談が急増しており、主なものは乳幼児を抱えた若い母親から直接『今虐待している』『手を上げてしまいそうだ』『育てる自信がない』等と、苦しみ悩んで助言を求める例が多くみられます。

虐待は、子どもの健やかな発達成長を損ない、心身に深刻な影響を及ぼすものです。その人がなぜ子どもにその行為をしてしまうのか、その背景に何があるのか、何が必要なのかと『子どもと家庭への援助』を最終的な目標として行動する必要があります。虐待とは、『不適切な養育』『子どものいやがる行為』とも言われています。これは以下の四つに大別できますが、いずれも複雑で重複することが

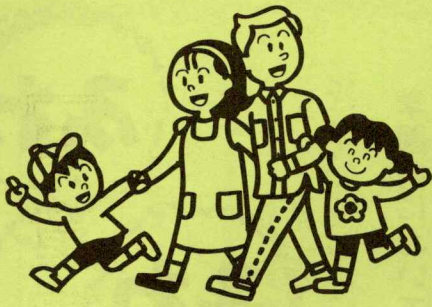
多くみられます。

- ①身体的暴行等(殴る・蹴る・タバコを押しつける・湯をかける・しばる等)
- ②養育放棄等(拒否・棄児・ほったらかし・不衛生・食べ物を与えない・登校禁止等)
- ③情緒的・心理的なもの等(死んでしまえ等の言葉の暴力・無視する等)
- ④性的虐待等(性的いたずら・性的関係の強要等)です。

虐待の難しいところは、発見し、確認し通報し、ケアすることがスムーズにいかないことです。家庭という密室の中で、大人が弱い立場の児童に行為を加えてしまっている事を、親も子ども事実を認めないために発見等が手遅れとなってしまうケースが多いためです。子ども同士のケンカ、いじめ、非行と違って、親の無知等による過度のしつけ、愛情、子育てであって、放置すれば生命の危険や一生心に傷を持つこともあり、犯罪と紙一重でもあります。

この虐待の解決方法として様々な論議が現在なされて





いますが、以下のようなものではないでしょうか。

第一には、子どもの日常生活場面で『ちよつとおかしいな』（家庭や地域、学校、病院等で）と思いたるときは、何かのサインがでていないのか注意深く観察する事が必要です。

第二には、身体的、行動上の特徴等を把握し、近くの児童相談所（学校・福祉事務所・保健所・教育相談所等でもよい）に連絡し協力と援助を求める必要があります。関係機関はネットワーク作りによって役割分担がされており、連携と協力によって、ケースワークがされたり継続的援助がされています。ケースによって

は、親自身が悩み援助を求めている場合と、子どもの側に原因がある場合もあり得るので、最初からマイナスイメージを持たないで（犯

人を探すのではないので）事故を未然に防ぐようにしていただきたいと思えます。皆さんには誰でも通告の義務があり、専門機関には秘密を守る義務がありますので、勇気を持って連絡することが必要です。黙っている、かわりたくない、では手遅れになってしまうことも考えられます。

最後に、家族関係ですが、事実に基づいて、特に親と子の修復と援助が重要となり、地域ぐるみの子育て支援体制が望まれます。

子どもの事件には、親権とか人権問題等が存在し、未解決な分野も多く、解決には長時間を要し今後の課題も多く残されています。虐待を受けた子どもの傷は深く、癒されなまま成長し自分が受けた虐待の経験を自分の子どもに繰り返す『虐待の連鎖』も問題となっています。虐待はあつてはならないことですが、『誰でも加害者、被害者になり得る』『どこにもありうる』こととして捉えなければなりません。重要なことは、地域の住民と関係機関が共通の認識を持って早期に発見し、情報提供を有効に活用し、事実の解明によって親と子の関係を一時も早く修復することです。社会全体が、『体罰は絶

対しない』ことを再確認して、事態の進行や、不幸な事件の再発を防止するよう努め、みんなで子供たちを守っていくことが大切な事です。

家庭にとって必要なことは、まず一家団欒の場、子どもぐるみの家庭意識を持つことであり、運命共同体としての家族全員の参加と話し合いによる家庭作りが必要だと思えます。親たちの日々の努力によって同じような状況、悩みを持つ人々が手をつなぎ、大切な子育て環境をはぐくんでいくことが必要ではないかと思えます。

ーぴーちっこ編集委員会よりー

本年は、昨年に引き続き『子どもの育つ環境』に視点を置き考えてまいりました。皆様の反響も大きく、最近の子どもが抱える多岐にわたる諸問題について考えさせられることも多かったように思います。今号では園長の宮本がペンを取り、現在社会問題となっている『児童虐待』について考えてみました。皆様のご意見ご感想等お待ちしております。又、コラムに取り上げてもらいたい話題、ぴーちっこに対するご意見、ご要望等、お手紙・FAXでいつでも受け付けております。

ふわ

ふわ

学園内においては

”園内サッカー“

学校でも”サッカー部“

とサッカー一色の当学園

の子どもたち。

今年もまた、各方面から

サッカーに関するたくさ

んの招待をいただき、胸

ワクワク、心ウキウキで

楽しませていただいたよ

うです。

今回はそんな子どもたち

の感想をご紹介します。

サッカー サッカー



サッカー交流会で“大人にも負けません”



JTMサッカースクールに行きました。

サッカー選考におしえてもらって、そして一緒にサッカーできてうれしかったです。

あと、リフティングがうまくなり、サッカーをやっている人の友情がふがまりました。

パスももうまくなりました。

M・K

JTMサッカースクールではプロの人に、教えてもらってそれで試合では三たび

優勝しました。あと日本代表、カップスターの試合ではぎんくよの優勝をしました。

そのときぼくはすごくうれしかったです。

R・S

ぼくは日本代表キャプスタン戦、あの

中村しゅんすけ選手の三上占の直接フリーキックがすごかった。

サッカースクールは選手が牛で目見れて、よく井原選手にあえて、とてもうれしかったです。

T・A

得点時の盛り上がり方が凄くて

同時に最高の楽しさがありました。

M・Y



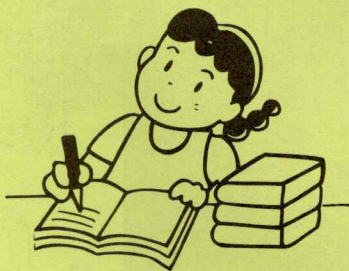
皆さんは「杉九ゆうゆうハウス」を知っていますか？これは杉九小の余裕教室を利用して作られた区民の生涯学習のための施設です。学園の中高生もテスト前・受験勉強にとよく利用させていただいているようです。

今回はゆうゆうハウス常連(?)の受験生Mちゃんと一緒にゆうゆうハウスの利用を体験してみましょう。

「こんにちは。Mです。ゆうゆうハウスは中に入ったらまず受付をします。受付で紙に名前や住所をちょこつと書いて、番号を受け取って個人学習室に入ります。私が初めてここを利用したのは今年の六月でした。そつとドアを開けると机と椅子が並び、机には他の人の視線をさえぎる為のついたてがあります。一目見て「これは勉強がはかどりそう」と感じました。それから夏休みは毎日ここに通って勉強しました。今年は特に暑い夏でしたが、ゆうゆうハウスはクーラーが効いていて涼しくて快適でした。クーラーの温

度についても、受け付けのおじさんが「温度上げますか？寒くないですか？」「暑くないですか？」と聞いてために調節してくださいました。

ゆうゆうハウスには勉強する部屋以外にも、会議用の部屋やお手洗い、廊下には飲食・休憩用の椅子があつて、利用している方も大人から子どもまで幅広いです。利用途中に一度外に出たい時は、番号を受け付けておけます。最近では私の通う中学校の生徒の利用者も増えてきて、私も気軽に入れるようになりました。初めは中の空気に緊張するかも知れませんが、2度目からはもう気軽に利用できると思います。静かな場所で過ごしたい時には是非ゆうゆうハウスを皆さんも利用してみてくださいはいかがですか？」



◎利用時間など

室名	定員	時間	使用料	会議室利用区分
個人学習室 58.95m ²	36名	午前9時～午後9時	無料	午前 午前9時～正午
会議室1 64.51m ²	36名			午後 午後1時～午後5時
会議室2 (生活科室) 119.00m ²	40名	学校休業日＝午前9時～午後9時 火～金曜日＝午後3時～午後9時 土曜日＝午後1時～午後9時		夜間 午後6時～午後9時

このゆびとまれ

“ぴーちっこ”を発行して、早八年。

当初から“このゆびとまれ”の欄では、学園でお世話になっているいろいろなボランティアの方を御紹介してまいりました。そして、13号からは、皆さまの暖かい励ましのお言葉を掲載させていただいておりました。

不況の続く中、当学園も“経費節減”から前号では“アンケート返信用の封筒”を準備出来ず、残念な事に1通のアンケートも回収されないという結果になってしまいました(12/1現在)。

8年続いて「少々、マンネリ化してきているかな?」という思いもある編集委員会です。

ただ今、“皆さまの声”の回収方法を検討しております。これからも、皆さまの叱咤激励をいただき“ぴーちっこ”発行への、また、日々の仕事へのエネルギーにさせていただけることを願っております。



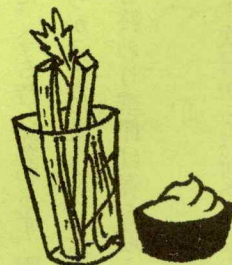
今回の『もぐもぐ』は みそマヨネーズ
生野菜がたくさん食べられる、学園で大変評判なソースです。

- 〈みそマヨネーズ〉 ・みそ 大さじ1
 ・砂糖 大さじ1
 ・マヨネーズ 大さじ7

この“みそマヨネーズ”をつけてたくさんの生野菜を食べましょう！
 学園ではスティックサラダのドレッシングとして使っています。

- | | | |
|----------|-------|---------|
| スティックサラダ | ・きゅうり | ・ブロッコリー |
| | ・人参 | ・アスパラガス |
| | ・セロリ | ・大根 |

*その他いろいろな野菜でお試し下さい。



「ぴーちっこ」は、今を生きる子どもたちについて皆様と話し合う広場です。

日頃子どもと接する中でふと気づいたこと、感じたこと、又お悩みになつてゐることなど、身近な話題や情報をお気軽にお聞かせ下さい。お待ちしております。

「ぴーちっこ」は年3回発行しておりますが、ご希望の方には毎回ご送付させていただきます。送料等無料です。ご住所・ご氏名・電話番号をご連絡下さい。

「ぴーちっこ」の内容に関するお問い合わせ、寄稿のあて先等は左記のとおりです。

〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友学園ぴーちっこ係

電話 03 (33338) 1844

FAX 03 (33338) 1894

ありがとうございました。

次の皆様よりご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

(平成11年9月～12月。敬称略)

〈寄付金〉

東和開発(株)、中島和代、東京文化幼稚園、野口道、斎藤啓子、山口秀雄、杉並区社会福祉協議会

〈寄付物品〉

(株)リトルアンデルセン、吉原秀子、平野久子、日本レコード協会、親切会東京支部、下村覺、原春男、セブインレブ阿佐ヶ谷北2丁目店、キリンビール(株)、(株)北村製作所、(有)リハルト・カンパニーChie、海老沢美幸、東京第三友の家阿佐谷の会、東京文化幼稚園、クラブ・デ・トラント、岩崎元男、(株)東京三菱銀行広報部社会貢献室、日本鏡餅組合、毎日新聞東京社会事業団、東京シューズ卸商業組合、アキレス東京販売(株)、金三商事(株)、弘進商事(株)、昭和ケミカル(株)、NTT東日本杉並支店、東京環境プラント(株)、マーケティングアクト、米澤幸子、佐川急便(株)東京支社清和会、中央花壇、アンシャンテ

〈バスデーフレンド〉

渡辺幸男、河野美穂、佐伯栄枝、杉本洋子、原あや子、水野陽子、佐藤美弥子、稲垣宏

〈招待〉

(株)ヤクルト球団(野球観戦、ファン感謝デー)、Jリーグ選手協会(JTMサッカースクール)、東京海上火災保険(株)社会環境室(サッカー観戦)、杉並区女性・児童部児童課(児童福祉係(観劇)、やきとり大吉(食事)、増島みどり・三菱商事(株)社会環境室(サッカー観戦))

編集後記

今年は2000年!皆様にとってどのような年となるでしょうか……。

ここで突然ですが、皆様はぴーちっこの名前の由来をご存知ですか?昔から、聖友学園には大きな2本の桃の木が生えています。その木の元で元気にはばたく子供の意味をもじって『ぴーちっこ』と名づけられました。今も昔と変わらず、園庭では子供たちが元気に遊んでいます。さて、寒い冬も終わり季節は春を迎えます。メンバーも一新!次号からは新たなぴーちっこをお届けします。